

平成30年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 津 田 泰 宏

○ 平成30年度重要事業

事業名	安全・安心な道路空間の確保
目 標	引き続き、道路の定期点検を行うとともに、舗装補修工事及び橋梁の長寿命化・耐震化工事を実施し、安全で安心して利用できる道路空間の確保を進めます。 また、市内地域間を連絡する道路や生活に密着した道路の整備を実施し、快適で利便性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
年度末達成状況	道路・橋梁を定期的に点検し、大規模舗装補修を4路線、道路橋梁の長寿命化・耐震化を2橋実施しています。 また、重要幹線道路、地域連携道路及び生活道路については、今年度予定していた箇所を整備を完了しました。
自己評価	概ね目標は達成できたと考えています。 市道については、今後も順次整備するとともに、道路施設、橋梁の点検及び補修工事等を計画的に実施し、安全・安心な道路交通の確保に努めます。

事業名	生活環境の充実
目 標	新たな交流やにぎわいを育む魅力あるまちを形成するため、安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備を進めます。 また、老朽化が進む公園施設については、引き続き、計画的な更新や安全対策を強化し、機能の充実を図ります。
年度末達成状況	小杉駅周辺の下条川千本桜ポケットパークについては、トイレ整備が完了しました。越中大門駅周辺の都市計画道路駅前線では、引き続き用地買収を進めています。 また、公園施設については、足洗瀉公園、歌の森運動公園、グリーンパークだいもんの遊具更新及び大島中央公園園路灯の改修を実施しました。
自己評価	概ね目標は達成できたと考えています。 越中大門駅周辺の安全性や利便性を高めるため、引き続き事業の推進に努めるとともに、平成31年度から駅前広場整備工事に着手します。 また、公園施設については、引き続き大型公園の遊具等の施設の長寿命化に努めます。

事業名	住宅環境の充実
目 標	<p>「三世代同居住宅支援事業」による住宅リフォーム補助や、「空き家対策支援事業」による老朽危険空き家の解消や跡地利用を推進し、良好な居住環境の形成を進めます。</p> <p>また、「若者世帯定住促進家賃補助」や「指定宅地取得支援事業」により、定住人口の増加に向け定住促進施策を進めます。</p>
年度末 達成状況	<p>良好な居住環境の形成を図るための各施策の申請件数は、「三世代同居住宅支援事業」に17件、「空き家対策支援事業（解体・新築）」に計17件の申請がありました。また、定住人口の増加に向けた施策では、「若者世帯定住促進家賃補助」に19件、「指定宅地取得支援事業」に19件の申請があり、延べ61人が市外から転入されました。</p>
自己評価	<p>概ね目標は達成できたと考えています。</p> <p>若者世帯の定着及び転入の促進、空き家の発生防止のための施策については、制度の効果を検証し、引き続き推進していきます。</p>